



日本語検定

3

級

ミ ニ テ ス ト

問1 ● 〈敬語〉

【 】のような場面で、それぞれの（ ）部分はどうのような言い方をすればよいでしょうか。最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

一 【就職試験の面接で、志望動機について話す】

廃材のリサイクルに（ ）御社の事業に魅力を感じております。

【 1 お取り組みされている 2 お取り組みになっている 3 お取り組みになられている 】

二 【上司に企画書を提出する】

課長、私の企画書を（ ）でしょうか。

【 1 ご一読になれません 2 ご一読いただけません 3 ご一読していただけません 】

問2 ● 〈文法〉

次のようなことを言うとき、（ ）部分はどちらの言い方が適切でしょうか。適切なほうを選んで、番号で答えてください。

一 来週の出張で、先方と契約を（ 1 結んでこられる 2 結んでくれる ）よう努力します。

二 この件に関しては、私と営業部の担当者で（ 1 話し合わせ 2 話し合わさせ ）てください。



問3 ●〈語彙〉

一、二のそれぞれについて、【】に記されている二つの言葉の関係と同じ関係になる組み合わせを一つ選んで、番号で答えてください。どちらの言葉が前で、どちらの言葉が後になっているかということにも注意してください。

一 【銀行——行員】

- 〔 1 教育——教員 2 職業——職員 3 工場——工員 4 楽屋——楽員 〕

二 【優遇——厚遇】

- 〔 1 刊行——出版 2 寄進——贈呈 3 伝統——継承 4 破壊——創造 〕

問4 ●〈言葉の意味〉

見出しに掲げた言葉を最も適切に使っているのはどの文でしょうか。番号で答えてください。

【破天荒】

- 1 破天荒のなか、予定どおりマラソン大会が実施された。
- 2 父の破天荒な笑い声が、家中に響いている。
- 3 急成長しているネット企業の社長が、記者会見で破天荒な事業計画を発表した。

日本語検定 3

級

ミ ニ テ ス ト

問5 ●〈表記〉

一、二の文には、パソコンで入力したときの変換ミスが一つずつあります。誤っている表記を含む言葉の正しい書き方を答えてください。

一 扇風機の受容が急増し、店頭では品薄状態になっている。

二 僚友並び立たずで、中心だった二人の対立が深刻化し、チームは解散に至った。

問6 ●〈漢字〉

一、二のア・イについて、（ ）に入る漢字として適切なものを、それぞれの【 】から選んで、番号で答えてください。適切なものがないときは、3を選んでください。同じ番号を二回使ってもかまいません。

一 【1 擬 2 儀 3 (適切なものがない)】

ア 自然界の物事を（ ）人法で表現するのは、この作家が得意とする手法だ。

イ 昆虫には、（ ）態によって身を守る行動が多く見られる。

二 【1 伯 2 迫 3 (適切なものがない)】

ア 株主総会を目前に控え、社内には緊（ ）した空気が漂っている。

イ 鉄道の廃線により、この地域の過疎化に（ ）車がかかった。

問1 ● 解答 一：2 二：2

一 相手の会社の「取り組んでいる」という行為を、「おくになる」という尊敬表現を用いて言っている、2「お取り組みになっている」が適切。1「お取り組みされている」は、「おくする」という謙讓表現に、尊敬の助動詞「れる」を付けていて不適切。3「お取り組みになられてる」は、尊敬表現「おくになる」にさらに尊敬の助動詞「れる」を重ねた過剰敬語。

二 上司が「一読する」ことで自分が恩恵を受けることを、「ごういただく」という謙讓表現を用いて表し、相手の意向を尋ねる可能な形で聞いている、2「一読いただけません(でしょうか)」が適切。1「一読になれません(でしょうか)」は、「ごうになる」という尊敬表現の可能な形を用いているが、自分が恩恵を受ける意が表されていない。3「一読していただけます(でしょうか)」は、「ご一読して」が「ごうする」という謙讓表現の形なので不適切。

問2 ● 解答 一：1 二：1

一 「結んでくる」の「くる」は力行変格活用動詞であり、可能表現は「こられる」であったが、1「結んでこられる」が適切。2「結んでこれる」は、ら抜き言葉。

二 「話し合う」は五段活用動詞であり、使役表現は未然形「話し合はせ」に「せる」を付けるしたがって、1「話し合はせ(て)」が適切。2「話し合はせ(て)」は、さ入れ言葉。

問3 ● 解答 一：3 二：1

一 「銀行」で働く人々を「行員」という。同じ関係になるのは3「工場— 工場」で、「工場」で働く人々は「工員」と呼ばれる。1は、学校などの機関で実際に生徒や学生の「教育」を行う人々を「教員」と呼ぶ、という関係。2の「職業」は、生活のために日常従事する仕事のこと、で、「職員」は、官公庁・学校などで職務を行う人々。4の「楽屋」は、劇場などで出演者が準備や休憩をする舞台裏の部屋のこと。「楽員」は、楽団の構成員のこと、で、楽屋にいる人という意味ではない。

二 「優遇」は、相手を手厚くもてなすこと、またその扱いのことで、「厚遇」とは類義語の関係である。同じ関係になるのは、書籍を編集・印刷して世に出すことをいう、1「刊行— 出版」。2の「寄進」は、寺社に金品を差し出すことで、「贈呈」は、人に記念品などの物を贈ること。3の「伝統」は、ある社会や集団に代々受け継がれている習慣や行事などのことで、「継承」は、伝統や地位・財産などを受け継ぐこと。4の「破壊」と「創造」は対義語の関係。

問4 ● 解答 3

「破天荒」は、これまで誰もしたことのない、実現は不可能であると思われるようなことをする様子。これまでに例のない事業計画という意味で用いている3が適切。1は、「悪天候」などが当てはまる文。2は、「豪快」などが当てはまる文。

問5 ● 解答 一：需要 二：両雄

一 「需要」が適切な表記。商品などを必要なものだと捉えて、何とかして手に入れようとする気持ちをいざいざと、その量のこと。「受容」は、何かを受け入れて、自分のものとして役立てること。

二 「両雄」が適切な表記。「両雄」は二人の英雄のことで、「両雄並び立たず」は、二人の英雄は共存することができず、必ず争ってどちらかが倒れるということ。「僚友」は、同じ職場の友人のこと。

問6 ● 解答

一 ア：1 イ：1
二 ア：2 イ：3

一 アは、1を用いた「擬人法」で、人間でないものについて、「空が笑っている」など人間のことのように述べる表現技法のこと。イも、1を用いた「擬態」で、動物が身を守るために、形や色を他のものに似せること。

二 アは、2を用いた「緊迫」で、情勢が緊張し、今にも問題が起きそうなこと。イは、物事の進行が一段と促進されることで、「拍」を用いた「拍車がかかる」となり、適切なものがない。